

記入日：2019/11/21

R1年度国土交通省「BIM/CIMリクワイヤメント」への対応

会社名	株式会社エムティシー
ソフトウェア名/Ver.	道路・鉄道線形計画システム APS-MarkIV Ver12.5 道路横断図システム APS-ODAN Ver3.1
適用分野	道路設計
適用フェーズ	予備設計、詳細設計

国交省			ソフトウェアの対応状況
No.	BIM/CIMリクワイヤメント項目	R1年度の施策等	
1	CIMモデルの作成・更新	<CIM 導入ガイドライン>	3次元地形データを使用して、中心線形検討、横断設計等を行い、設計データを用いてCIMモデルを自動生成できる。単路部のみではなく、平面交差点、IC/JCT、立体交差等にも対応する。
2	属性情報の付与	<CIM 導入ガイドライン>	線形、土工形状、および、地形の各モデルについては、J-LandXMLに準拠し、出来形管理等に用いる、土工面（道路面・路床面・路体面）・舗装工の形状・属性を出力できる
3	CIMモデルの照査	<BIM/CIM 設計照査シートの運用ガイドライン>	対象外（計測機能等の汎用CAD機能を持たないため）
4	CIMモデルの納品	<CIM 事業における成果品作成の手引き>	上記No.1、2に記載のとおり
1	段階モデル確認書を活用したCIMモデルの品質確保	<段階モデル確認書>に基づきCIMモデルを共有し、その効果や課題について抽出する	必須項目 No.1、2に記載の機能を用いて作成したCIMモデルを共有できる
2	情報共有システムを活用した関係者間における情報連携	情報共有システムの3次元データ表示機能等を活用し、関係者間の情報連携を実施する	未対応
3	後工程における活用を前提とする属性情報の付与	CIMガイドラインに固執せず、事業ごとの特性から追加すべき属性情報を検討する	必須項目 No.1、2に記載のとおり

国交省			ソフトウェアの対応状況	
No.	BIM/CIMリクワイヤメント項目	R1年度の施策等		
4	選択 項目	工期設定支援システム等と連携した設計工期の検討	「設計施工間の情報連携のための4次元モデルの考え方」を参考に施工ステップに沿ったCIMモデルを構築する	未対応
5		CIMモデルを活用した工事費の算出	CIMモデルから数量を算出するとともに、算出された数量に基づく概算事業費の算出を行う	対象外（概算工事費の算出機能を持たない）
6		契約図書としての機能を具備するCIMモデルの構築	契約図書としての要件を備えたCIMモデルを作成し、3次元モデルと2次元図面との整合性について確認する	対象外（計測機能等の汎用CAD機能を持たないため）
7		CIMモデルを活用した効率的な照査	3次元モデルと属性情報に基づき、効率的な照査を実施する	対象外（計測機能等の汎用CAD機能を持たないため）
8		施工段階におけるCIMモデルの効率的な活用方策の検討	CIMモデルを用いた仮設計画、施工計画を行い、出来型管理を検討、実施する	対象外（仮設計画、施工計画、出来形管理機能を持たないため）